

洋書輸入協会会報

VOL. 11

NO. 10

(通巻 126 号) 昭和 52 年 10 月

理 事 会 報 告

8 月 26 日 (金)

(一) さいきんの新聞報道などについて情報が交換され、とくに 8 月のある新聞のように、12 ドル 50 セントを約 3,100 円としているなど単純な計算誤りによって記事を誇大に書いてある実例が相良広明氏 (紀伊国屋) によって指摘された。

(二) その他の国内情勢について意見を交換。

(三) その他。

9 月 12 日 (月)

(一) 7・8 月分収支計算、予算対比表検討、承認。なお JBIA 事務所の家主である相武住宅相互 K・K より、暖房取替工事のため、JBIA に 10 万円の割り当てがあっ

た。支払いは 12 月より 10 ヶ月分割。

(二) 月刊誌 *English Journal* に、洋販栗原氏の「洋書は高くない」の記事が掲載されている件。

(三) 1～6 月の輸入通関統計の分析。

書 籍 10,312 百万円 前年同期比 107%

雑 誌 4,667 " 147

計 14,979 " 117

雑誌の急増は、昭和 50 年 1 月よりの通関手続きの変更による影響と考えられる。

(四) *Directory* 委員会より、総代理店リストはコンピューターに入れておけば毎年の作業が簡単になるのではな
いかの提案があり、検討することとする。

本 の 周 辺

日 下 弘

1977 年 × 月 × 日

雨の京都で古本屋を巡る。旅に出ると古道具と古本を
探るのが常だが、新京極で易学の古書を見つける。易学
に興味があるのではなく、その本の文字に魅せられる。
先斗町で飲み早々にホテルに帰る。昨夜は NHK ホール
でショルティの「幻想」を聴き、今朝 6 時 48 分の新幹線で
名古屋に。愛知芸大でエディトリアル・デザインの講義。

久々の休暇を京都にとり、明日若狭におもむく。

× 月 × 日

土曜日の湖西線も雨で、琵琶湖がけむって静かな風景。
小浜の駅で宿をとり街を散策。古道具やを三軒歩き、伊
万里の皿を求める。最後の店には古書もあり、漢隸字源
や唐宋詩語玉屑、萬歴三世大雑書など 10 数冊を見つけ
る。大変な掘り出し物だ。その値段の決め方がいい。雨

目 次

理事会報告……………	1	Book Review No.46……………	5	通 関 統 計……………	6
本 の 周 辺……………	1	会員紹介 (株)関西書店……………	5	総代理店ご案内……………	7
外国出版社の紹介 No.53……………	3	海外ニュース……………	6	広告 USACO……………	8
本の本 No.6……………	4	来日外人名簿……………	6		

者が納得する額にしようという。これにはシミがある、これは水かぶりだと随分安くしてくれる。そのおばさんの所に2時間ほどは邪魔したろうか。これ等の本の文字の種類や、版木のかすれ具合などが、レタリングの参考になる事を話すと、明治・大正時代の若狭新報を20枚ほどお土産といってください。この新聞の広告ページだって相当な資料だ。お茶をご馳走になり、宿に帰る。明日は小浜の国宝巡りをする。

×月×日

世界文化社の「日本の伝説」のアート・ディレクターを受け毎月1冊づつ仕事を進めている。今月は水上勉氏の原稿が遅れて、その頁が進まない。編集者のN氏もヤキモキ。やっと手に入れ深夜レイアウト完了。翌朝の新聞に水上氏の御息との対面の姿が大きくある。この仕事は来年の夏まで続く。

×月×日

土曜日はなるべく散歩をすることにしている。僕の唯一の運動なのだ。今日は中野坂上の自宅から荻窪の古本屋まで1時間半。こうやって朔太郎の本をだいぶ集めた。暑くなるとクーラーのある本屋にたちどまる。古本屋の主人は頑固で団扇とステテコの人が多い。

×月×日

東京創元社のヴィリエ・ド・リラダン全集の普及版の最終刊が届く。自宅の本棚に限定版と一緒に並べる。訳者の斎藤磯雄先生のリラダンに対する崇拝と、20年をかけて訳された情熱を聴かされて装飾をただけに、先生の御満足を得てうれしい。

×月×日

昨年の5月にスタートした講談社の百科事典の仕事が完了し、打ち上げのパーティを拙宅でやる。サンセットからサンライズまで。19人の来客。この百科事典は、イラストや写真・図版をふんだんに使って目で見えるページを作った。酔った編集スタッフの数人が流行遅れの電線音頭を踊る。事典の出来上る秋が待遠しいが本棚はもう

一杯になっている。どこに置こうか。

×月×日

高校の同窓会会報の座談会に引っぱり出される。作家の黒井千次や卓球の荻村伊知朗等が同級生だ。黒井から装幀の礼を言われる。2年前の夏に、彼の代表作「時間」(角川文庫)のカバーを担当したのだった。高校を卒業して26年、体をいたわる話が出て苦笑する。

×月×日

毎月の10日は待遠しい。将棋の雑誌が店頭にならぶからだ。この本を購入する様になったのはS少年が将棋連盟の奨励会に入会した時からで、彼の成績を知りたいからだ。今月号で初段になっている。まだ14才の中学生は高柳八段の門、中原名人の弟弟子である。彼に始めて駒の動かし方を教えたのは、少年が小学校1年の頃だと思う。夜、お祝いの電話を入れるが12チャンネルのヴィデオ撮りで不在。何年かして彼が高段者になり対局姿がテレビで放映される日、僕は得意になるだろう。それにしても将棋の雑誌のレイアウトは不毛だ。

×月×日

12チャンネルの将棋の時間をみる。加藤一二三棋王に落語家の柳好師匠が二枚落ちで挑戦。銀多伝で見事に勝つ。S少年が記録係で秒読みの声を出している。きちんと正座して随分大人になった様だ。

×月×日

事務所の本棚からシムノンを見つけた編集者のK嬢が、読みたいと持って行く。創元推理文庫で、もう絶版になっている8冊だ。この本の装幀をしたのは15年ほど前、定価は70円とある。そのK嬢はヨーロッパで古くから言われている諺を教えてくれる。

「男の価値は本棚の内容で見分けよ、女の価値はそのスパイス棚の中身でわかる」と。

僕の本棚には自分がデザインした本と、仕事の資料として必要な本と、読みたくて集めた本が相当の数になった。或る意味では本のスパイス棚の様でもある。

(グラフィック・デザイナー)

WM. B. EERDMANS PUBLISHING CO.

アメリカの地図を拡げると中央よりやや東寄りにミシガン湖が目に入る。南端のシカゴが中心の都市だが、以下南にのびる一帯を“バイブル・ベルト”とも呼ぶとは最近留学した神学生の話である。このミシガン湖の東岸のグランド・ラピド(Grand Rapids)にアードマン社(Eerdmans pub. Co.)がある。どうしてバイブル・ベルト地帯が出来上ったのかを素人流に色々考えてみると、大西洋岸のニューイングランドを中心に清教徒の植民がはじまり、さらに新天地を求めてアメリカ大陸の内部に入っていく開拓者の多くが、定住して行った地帯とも考えられる。彼らの多くは、父祖伝来のプロテスタント系の素朴な信仰を持ち、生活の拠り所とした事は推察出来る。このバイブル・ベルトに支えられて、多くのキリスト教出版社が存在し、アードマン社はそのうちの大手の一つにかぞえられる。

初代ウィリアム・アードマンは1902年にオランダから移民し、神学校に通うかたわら生活費を得るために本の販売をはじめ、1911年、神学論文を専門に取りあつかう出版社を設立している。創設期の出版物は大抵ヨーロッパの神学者の古典的な著作で、オランダ語のものが多く、またジャン・カルヴァン(John Calvin)関係の著作のうち、30万ドルを費して上梓した“ジャン・カルヴァン註解書”50巻がある。

1945年、アードマンは社報で、会社の将来の見通しを次のように述べている。

“我々は出版分野を限定すべきではない。生涯の、どんな時期にもその人のための本というものがある。我々は色々なものをたべるように、色々な思想を摂取して精神を養わなければならない。歴史は過去の記録を、詩は人類の想像と感情を読む者に伝え、神学は我々を創造者に導き、科学は現代の人々の活動に目をひらかせる。伝記は優秀な人々の生涯を身近なものにし、何を考え、何をなしたかを教える。精神は時の壁を越えるからこそ偉大なのである。すぐれた書物は山の頂上に似ている。我々をして天空に向かわしめ、被造世界の新たな眺望を得させるのである。……最も偉大な書物は我々をして至高者の真理に導くものであり、全人類に正義の福音をもたらすものである”。

アードマンのこのような方針に基づいて、その後C. S. Lewis, Jacques Ellul, Merrill C. Tenney, Charles Williams, Helmut Thielicke, William Barclay, などの作家、神学者が、契約を結ぶようになった。

1951年“Reformed Journal”すなわち Periodical of Reformed Comment and Opinion の定期刊行を開始し、以後25年にわたってキリスト教の学者にさまざまな主題についての論義の場を提供してきている。ウィリアム・B. アードマン、Sr.、は1966年になくなり息子のウィリアム・B. アードマン、Jr.、が後継者になり、先代から受けついだ事業のレベルを下げることなく遂行している。

アードマン社の出版目録を見ると1960年代の社会状況の変化に応じて、今までのとは趣を異にした、社会批判、政治、中絶から人種差別にいたるまでの現代の問題を論じた本を、積極的に公けにしているが、出版の中心は何といっても、教義研究シリーズ、聖書読解シリーズ、幾多の聖書辞典や参考書などの神学関係の著作である。

おそらくアードマン社が、最近宗教書の領域で果たした最も大きな業績は、何と言っても、G. キッテルとG. フリードリッヒの「新約聖書神学辞典」Theological Dictionary of New Testament と、ポッターベックとリングレンの「旧約聖書神学辞典」Theological Dictionary of Old Testament だと言える。この二著は、全世界の神学者が、こぞって神学関係で今世紀最大の企画と呼んでいるものである。

現今の社長である、ビル・アードマンは健全な会社の将来について次のように語っている。

“当社は確かに規模の小さい会社だと言わねばならないし、おそらくこれから今以上に大きい会社になることはないだろう。しかし、そうだからこそかえって我々には出版するものを選ぶ自由が残されているのである。会社のスケールが小さいことは、決して我々の果すべき窮極目的の障害にはならないと思う”。

リフォームド・ジャーナル誌の主任編集者である、マーリン・ヴァンエンデレンも社の方針を述べて、社長と同様のことを言っている。“ある著作を出版するかしないかを決定する際には、神学的見地だけでなく、社会に役に立つか、独創に富んでいるか、内容が統一しているか、表現がわかりやすいか、生き生きしているかといった観点も重要な決め手になる。杓子定規は通用しない。情報量が過度に増大した現代においてもなお、読んでよかったと読者のみなさんに思われる本を作りたい”。これらの言葉を考えてみて、何か思いある点があるのは我々洋書輸入業者のみではあるまい。

(教文館・渡辺記)

The Invention of Printing in China and its Spread Westward.

By Thomas Francis Carter. 2nd ed., rev. by L. C. Goodrich. New York, 1955.

The Ronald Press Co. Med. 8vo, xxiv, 293 pp.

八 木 佐 吉

アメリカの支那学者 T. F. カーターは、1882年に生れた。1904年プリンストン大学を卒業して間もないころ友人二人と世界旅行の途次、中国に立寄った。1906年のことであった。すでにこのとき中国にある種の魅力を感じて、南京で同行の友人達と別れて、一人そこに滞って、内陸旅行を試み、また数ヶ月にわたって中国語の学習をもちかえりてのち帰米した。結婚後の1910年に再び中国に赴いたカーターは、以後約10年の間教育事業に従っていた。あるとき Clennel, Walter James: *The Historical Development of Religion in China*. London, 1917. を読むうちに、紙と印刷術、火薬と羅針盤の四つの発明が何れも中国人によって行われたという起源説はあるが、どれだけ実際にこれらの事実が跡づけられ、証明されたか、というような記述をみて以来、その中の印刷術とそれに伴う紙についての中国起源・発明の跡づけをしようとカーターは決心した。ときに1922年。

ヨーロッパの各地で中央アジア発掘遺物などを研究し、それらの専門研究学者達の教示を受け、エジプト、アラビアなどの関連事項などをも攻究した。殊にパリでのポール・ペリオ教授からの教化は大きく、強かった模様である。ペリオはすでに漢籍をも読破する学力の名だたる世界的シノロジストで、敦煌発掘の大著 *Mission Pelliot en Asie Centrale*. 1914—*Les Grottes de Touen-Houang*. などによって周知の学者。カーターはこの先生に自ら敦煌のある洞窟で拾ったという活字の幾個かをとり出して見せられ、刺激をうけたことなどもこの本の序文に書かれている。これらの縁由のためか、カーターは自らの本の巻頭にポール・ペリオ博士に献呈の文を掲げて敬意を表している。

この本の初版は1925年刊。当時（大正14年）のわが国では関東大震災の復興事業などへの関心が強く、また他の事情も加わってこの本への注目是一部の専門学者の注意をひいたに留っていた。また、現今のように、世界に影響した諸科学と文明の中国の寄与についての研究書は少なかった時代である。今は1954年来出版のニーダムの著書「中国の科学と文明」Needham, Joseph: *Science and Civilization in China*. 5 Vols. Cambridge Univ. Press. 1954—1974. のような名著、

ユニークなしかも大冊の書物でこの問題は著しく一般に認識されるにいたった。しかし、ニーダム達の著述も数十年前のこのカーター著「印刷術中国起源志」本書が、その研究への示唆を与えたといつてよいと思う。それほどこのカーター著書は重要な本であると自分は前々から考えて、周囲の書物人達はこの書物について語り、紹介してきた思い出がある。

1925年初版の出版時にある部数を輸入した覚えもあるが、そのころ以前及び以後のわが国での対中国の一般の態度は真に蔑視も甚だしいものがあって、この名著も埋もれてしまったようである。

戦後1955年にカーターのコロンビア大学に於ける後継学者グドリッチによって大いに増補訂正され全く新版のような内容で出版されたのを知ったが、やはりそれほど注意を日本の読書界ではひかなかったようである。20余年以前の出版でも今年の *Books in Print* にも記載されているのにかわらず洋書やさん達も余り輸入しようとしていないようにも見受ける。わたくしはここ数年の間に知り合いの方達に勧めて、何部かをお世話したりして、ひとりひそかに楽しんでた。そして嬉しくも思っていたのである。それが、つい先日、和訳が出た。平凡社の東洋文庫の一冊として「中国の印刷術」がそれである。

訳者は横浜の神奈川県立図書館に勤務されている石橋正子司書で、京都、竜谷大学の中国科学技術史の専攻学者藪内博士の監修で権威づけられているが、本来は石橋さんお一人の労訳であろうと推察する。わたくしは何かの機会にこの訳業が進みつつあることを知って速やかな出版を希っていたのが、ようやく実現したので、いささか嬉しく、我が意を得た感も強い。そこで、この機会に原著の紹介をあらためてこの誌上に記して洋書輸入にたずさわる方々に、今でも \$14 で Ronald Press 社から入手不能のこの名著を紹介したかったわけである。原本も和訳本も、おおいに売りひろめて下さい。邦文で而も平凡社刊なので、恐らくは原本の何千倍もの普及さをもつであろう。真に嬉しい。わたくしの1925年以来ひいきの本書がひろく読まれることを希ってやまない。

小 汀 良 久 著

出 版 戦 争——大量安価で出版の質は保てるか

東京経済・刊 昭和52年6月発行 ¥770

通常この種の本は、出版研究家とか評論家とかいった第三者的な立場から書かれる事が多い。ところが、この本は、出版産業のある部分に生命をかけている人間が、出版界の現在の動きに、堂々と自分の所の立場から発言している。その書きぶりは、かみついていると言った方がいいかも知れない。著者はある中堅の出版社を経て、現在小出版社を主宰している。

出版には大きく分けて、質的出版と量的出版とがある。出したいから出す。意義を認めるから出版するという発想は小出版社の発想であり、これこそ出版の原点であるという。著者は終始この立場からこの出版戦争に提言をしている。提言は当然のことながら鳥観的ではない。まえがきで著者自身ことわっている通り、

提言は「小出版社の生理的反撥」であり、問題解明には「独断と偏見」に満ちたアプローチがたしかにある。

出版戦争とは、書名のサブタイトルの通り大出版社の「量こそが質である」「売れる事(量)こそ文化(質)である」といった意識変化が生み出した現在の本の消費財化と、「質を内包する量」への変化の中で問題化した出版権をめぐる抗争であろう。著者は小の立場で物を言う人によくある勢いのいい文章で明解に自分の論理を展開する。立場が違えば当然首肯出来ない所は多くあるであろうが、とにかく歯切れよく面白い。特に文庫合戦の章は少しでも今の出版状況を知っている人には興味深いと思われる。

(SSD. 野村)

会 員 紹 介

関西の社会科学の洋書専門店

(株) 関 西 書 店

〒546 大阪市東住吉区矢田矢田部町 692

☎(06)698—6137・698—1803

昭和41年、南大阪にて創業を開始した。

関西は、特に、京都に代表される学術的地位が伝統的に高く、又、リベラルな風土の性格を備えたところである。この伝統と土壌を基盤におき、洋書輸入業を起点にして、幅広い出版活動と広く海外への宣伝、紹介を行い、企業規模の拡大を目的としている次第。

社内的には、「自由と和」をモットーとして、型にとられない人格の形成と、能力の充分発揮できる自立力を企業内活動を通じて向上することを、指導指針としている。更に、個人として利己的に、組織として体制的な、現在の社会的風潮に排戦し、心の通じあう、

強固な信頼と信義がある企業に育成することを、念願しているとのことである。

創業10年を経過し、洋書輸入協会に加入したが現在の社会情勢は、洋書業を営む者にとって、非常に厳しいものがあります。洋書店の規模の大小、創業の長短を問わず、洋書輸入の取次、販売の企業存在の意義が疑問視されている状況がある。

加入の機会を境として、危機感さえある洋書輸入業界の地位向上と発展のために、微力ながら、役立つべく努力する決意であるとのことであった。

海外ニュース

「米国書籍の輸出入額」

米国商務省の統計によれば、1976年の米国書籍の輸出入額は総計\$ 298,780,690で、前年より10.9%の伸びを示した。輸入額は総計\$ 157,949,973で、前年比7%の増加である。なお、これらの数字は\$ 250未満の小口の発送分を含まないので、実際の数量はこれをはるかに上回るものと思われる。

米国書籍の輸出先は、これまでと同様カナダが最大で、\$ 143,594,680で輸出全体の48%を占めている。

品目別では、輸出では、一般書およびパンフレット類が\$ 126百万余で最も多く、前年比19.6%増である。教科書類は\$ 70百万余で約10%増、理工学書は\$ 47百万余で7%増、百科事典類は\$ 28.5百万で10%減となっている。その他聖書等は15%増、絵本類は8.5%増、辞書はほぼ前年並みである。

輸入の方は、聖書等の宗教書が\$ 6百万を越え、前年より30%以上も増加した。外国語の本は16%増、ぬり絵等は29%減。これら以外の本は合計\$ 131百万で、前年より4~5%の伸びにとどまった。

(Publisher Weekly 9月19日号より)

「バンタム社の買収入」

アメリカのBantam Books, Inc. は、年間売上高約8,500万ドルでアメリカのペーパーバック市場の22%以上のシェアを占め、わが国の読者にもなじみの深い出版社だが、過去9年間に持ち主が4回も変り、今度は5人目の所有者を迎えることになった。

西ドイツ最大の出版社 Bertersmann Publishing Group が9月7日に発表したところによれば、同社は、1974年以来 Bantam Books, Inc. を所有してきたイタリアの IFI International の米国の持株会社の51%の株を取得することになった。IFI 社はファイアットの自動車()で有名なアグネリ家によって75年前に創立された会社で、今後とも Bantam 社の持株会社の49%を所有する。これにより、アメリカの出版社をドイツとイタリアの会社が共同で所有するというきわめてめずらしい例が出来た。

なお、Bantam 社の経営陣、編集陣には全く変更はない模様である。Bantam 社側は新たな資金の流入を歓迎しており、Bertersmann 社は、最近西ドイツ屈指のペーパーバック出版社 Goldmann を取得したばかりであり、この部門の強化に役立つものと期待している。

(Publishers Weekly 9月19日号より)

——紀伊國屋書店提供——

来日外人名簿

8月下旬 Mr. Gary R. Craig, Harcourt Brace Jovanovich,
International Corporation
9月上旬 Mr. Roland Lam, President, Litton Educational
9月下旬 Mr. David M. Blum, Medical Marketing Manager,
Prentice-Hall International
10月中旬 Mr. Donald Trainer

通関統計

外国貿易概況(大蔵省関税局編、日本開税協会発行)
1977年6月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和52年6月\$ 9,965,000	1月以降累計\$ 56,297,000
昭和51年6月\$ 6,827,000	" \$ 44,334,000

(註) この統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まない。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許の Agent List にご記入願います。

丸 善 株式会社 ☎ 272-7211
The Canadian Institute of Chartered Accountants.
..... All Publications

Morris, W. and M. Morris.—Morris Dictionary of Word and
Phrase Origins. '77. 672 p. (Harper & Row) October
..... ca ¥4,900

The New Grove Dictionary of Music and Musicians.
20 Vols. Ed. by S. Sadie, L. Lockwood and others.
'78-'79. 15000 p. (Macmillan) August
..... Set ca ¥340,000

Proctor, P. and A. W. Frisby. (eds.)—A Dictionary of
Contemporary English. '78. (Longman) ... ca ¥3,040

Wolman, B. B. (ed.)—Handbook of Parapsychology. '77.
(Van Nostrand Reinhold) November ¥9,800

Wm. Hein & Co., Inc.

Damages in International Law. By Marjorie M. Whit-
man. ¥17,100

Monthly Labor Review.
Vols. 1-99. 1915-1976. ¥1,120,000

Pike and Fischer: Administrative Law.
Vols. 1-38. ¥433,200

U. S. Department of Housing and Urban Develop-
ment. Annual Report.
1st to 10th. 1965-1976. ... Price to be announced

U. S. Environmental Protection Agency. 40 Vols.
..... ¥370,500

Computer Science Press

Journal of Design Automation and Fault-Tolerant
Computing. (A) Q ¥28,500

Corporation Service Company

Contents of Current Legal Periodicals. (A)
..... M ¥25,800

Franklin Institute Press

Cancer Therapy Abstracts. (A) M ¥38,000
Carcinogenesis Abstracts. (A) M ¥38,000

Little, Brown and Company

Annals of Plastic Surgery. (A) B-M ¥11,900

三洋出版貿易 株式会社 ☎ 669-3761

Akademiai Kiado, Budapest

Absorption Spectra in the Infrared Region, Vol. 3 &
further volumes.

Edited by L. Lang, S. Holly & P. Sohar.

Vol. 3 1977刊 319頁 300 spectra ¥8,500

Vol. 4 1978刊行予定 in preparation

*Vol. 1 & 2 は Butterworth 社より出版されてい
たものです。

Atlas of Thermoanalytical Curves, Vol. 6 & further
volumes.

Edited by G. Liptay.

Vol. 6 1978 刊行予定 in preparation

*Vol. 5 まで Heyden 社より出版されていたもの
です。

Cercle de la Librairie, Paris

Les Livres Disponibles, 1977

4 Vol. (Auteurs & Titres)

(French Books in Prints '77)

1977年11月刊行予定 (1978年1月入荷予定)

セット予定価 ¥83,300

昭和52年10月 通巻第126号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329

秋も深まります！

来年度(1978)予約申込みの機会に是非この雑誌の購読をご検討下さい。



英国金属学会出版物 ご案内

此の度、弊社は英国金属学会の全出版物の日本に於ける販売総代理店に指定されましたので茲にご案内申し上げます。

当学会は1908年創立の金属協会と1969年創立の鉄鋼協会の二つの協会の活動を引継ぎ、1974年に新たに発足した権威ある学会であります。

金属、鉄と非鉄金属及び関連材料等の全領域を網羅した学術的に高い専門雑誌、書籍を刊行いたしており、その活動は高く評価されております。

是非ご検討の上、ご購入下さい。

誌名	発行回数	1978年度予約購読価格
Metals & Materials	(月刊)	18,200
Metals Technology	(月刊)	37,200
Metal Science	(月刊)	34,200
Ironmaking & Steelmaking	(隔月刊)	25,400
※ International Metals Reviews	(隔月刊)	25,400
Powder Metallurgy	(季刊)	14,000
British Corrosion Journal	(季刊)	22,800
Steel in the USSR	(月刊)	45,600
World Calendar	(季刊)	13,600

※1978年度は“季刊”より“隔月刊”の発行に変更致します。

尚詳細についてのお問合せは、弊社代理店業務部まで一報下さい。

■上記の雑誌は総べてASP扱いにて送付されます。

■ご注文は最寄りの洋書取扱店でも承ります。

●弊社は、海外の高度な技術情報、外国雑誌を一手に取扱っております。

日本販売総代理店

SCIENCE & TECHNOLOGY INFORMATION SERVICE
USACO®

株式会社 ユー・エス・エシアテックカンパニー

■本社 東京都港区新橋1丁目13番12号 堤ビル ☎東京(03)502-6471(代表)
 ■大阪 大阪府北区堂島船大工町14番地 日昭ビル ☎大阪(06)344-6624(代表)
 ■名古屋 名古屋市中区横木町3丁目17番地 ☎名古屋(052)931-2601(代表)
 ■土浦 茨城県土浦市富士崎1丁目7番21号 和光ビル ☎土浦(0298)23-1773(代表)